

## 平成 27 年度実施 大網白里市住民協働事業 成果報告書

<b>事業名</b>	駅前広場の環境美化活動を通じた就労支援事業	
<b>事業主体</b>	<b>実施団体</b>	<b>市（関係課）</b>
	大網白里市ユニバーサル就労支援の会	財政課、社会福祉課

<b>事業費</b>	<b>当初予算額</b>	<b>決算額</b>	<b>市補助金額（交付決定額）</b>
	718,050円	302,600円	300,000円

### 【 ①課題 ②目的・効果について 】

次の事項がわかるように、事業概要と成果を記入してください。

- どのような地域課題（行政課題）、住民ニーズに対して、  
 ○いつ ○どこで ○誰を対象に ○どんなことを ○どのような方法で実施し、  
 ○どのような効果が得られたか。 ○住民の満足度は得られたか。

利用者数の増大やモラルの低下により、駅前広場や公衆トイレなどの行政の手だけでは行き届かない環境美化という課題を、市民が自らの課題として取り組むこと、またその取組を働きたくても働けない、働くスキルがない人たちの就労準備の研修や社会参加の場として取り組み、25年度、26年度、27年度と3年にわたって大網白里市の市民協働事業として活動してきた。

27年度に於いては、合計86回、のべ416名がこの事業に参加してくれた。活動日は毎週金曜日と日曜日だったが財政課からの依頼で土曜日と日曜日になった。活動内容は新しくなった公衆トイレの清掃（今までのやり方でなく、素材や仕様も違うので新しい状態を維持するためには今までの倍の時間がかかった）や駅前広場の清掃、花植え、および駅に繋がる4本の道のゴミ拾いなどをしてきた。

観光や通勤で大網駅を利用する人たちが「この駅は綺麗だね！」「ゴミがないね！」「すっきりしているね」などたくさん声をかけてくれた。この活動を通して掃除のスキルや心構えなどが身についた刑務所から出て来た S 氏は土日だけでなくほぼ毎日清掃してくれている。またアル中の T 氏はこの活動を通して就職先が見つかった。87歳の高齢者の S 氏もこの活動を通して健康維持と参加者とのコミュニケーションが出来ることがうれしいと話してくれた。

開催回数 合計86回  
 のべ参加者総数 416名

### 【 ③企画力 】

団体と市の役割分担について、実際に担った役割を記入してください。

団体の役割	市（関係課）の役割
<p>水面下に隠れている就労困難者への就労準備や社会参加への働きかけ、および継続的な関わり。</p>	<p>(社会福祉課) 駅前広場の美化保持運動等への参加者を募集する。 就労経験が乏しいなど、精神的・身体的に就労の準備が必要な者に対して同運動を紹介し、実際の就労につなげる。</p> <p>(財政課) ・報告会の参加 ・就労支援における清掃実施箇所の提供 ・意見交換</p>

また、その役割分担は適正であったかについて、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<p><input checked="" type="checkbox"/> 適正であった  <input type="checkbox"/> 概ね適正であった  <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった  (理由)  よく頑張りました。</p>	<p>(社会福祉課)  <input type="checkbox"/> 適正であった  <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった  <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった  (理由)  件数は少ないが、市と団体で連絡を取り合い、同運動の利用に導けた者がいた。</p> <p>(財政課)  <input type="checkbox"/> 適正であった  <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった  <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった</p>

4月～2月（11ヶ月）合計86回開催 のべ参加数416名

一回平均参加数 4,8名

金曜日は14:00～16:00に開催、土曜日日曜日は 6:00～ 8:00に開催

第 1回 4月 3日 (金) 7名

第 2回 4月 5日 (日) 5名

第 3回 4月10日 (金) 5名

第 4回 4月12日 (日) 4名

第 5回 4月17日 (金) 7名

第 6回 4月26日 (日) 4名

第 7回 5月 1日 (金) 5名

第 8回 5月 3日 (日) 5名  
第 9回 5月 8日 (金) 5名  
第10回 5月10日 (日) 5名  
第11回 5月15日 (金) 25名  
第12回 5月17日 (日) 5名  
第13回 5月 22日 (金) 5名  
第14回 5月 24日 (日) 5名  
第15回 5月 29日 (金) 5名  
第16回 6月 5日 (金) 4名  
第17回 6月 7日 (日) 5名  
第18回 6月12日 (金) 5名  
第19回 6月14日 (日) 5名  
第20回 6月19日 (金) 7名  
第21回 6月21日 (日) 5名  
第22回 6月26日 (金) 5名  
第23回 6月28日 (日) 5名  
第24回 7月 3日 (金) 5名  
第25回 7月 5日 (日) 5名  
第26回 7月10日 (金) 5名  
第27回 7月12日 (日) 5名  
第28回 7月17日 (金) 6名  
第29回 7月19日 (日) 5名  
第30回 7月24日 (金) 5名  
第31回 7月26日 (日) 5名  
第32回 8月 2日 (金) 5名  
第33回 8月 7日 (日) 25名  
第34回 8月 9日 (金) 5名  
題35回 8月14日 (日) 1名  
第36回 8月16日 (金) 5名  
第37回 8月21日 (金) 5名  
第38回 8月23日 (日) 5名  
第39回 8月28日 (金) 5名  
第40回 8月30日 (日) 5名  
第41回 9月 4日 (金) 3名  
第42回 9月 6日 (日) 5名  
第43回 9月11日 (金) 3名  
第44回 9月13日 (日) 5名  
第45回 9月18日 (金) 4名  
第46回 9月20日 (日) 4名  
第47回 9月25日 (金) 3名

第48回 9月27日(日) 4名  
第49回 10月 3日(土) 4名  
第50回 10月 4日(日) 4名  
第51回 10月10日(土) 3名  
第52回 10月11日(日) 4名  
第53回 10月17日(土) 2名  
第54回 10月18日(日) 5名  
第55回 10月24日(土) 2名  
第56回 10月31日(土) 2名  
第57回 11月 1日(日) 4名  
第58回 11月 7日(土) 1名  
第59回 11月 8日(日) 4名  
第60回 11月14日(土) 1名  
第61回 11月15日(日) 5名  
第62回 11月21日(土) 2名  
第63回 11月22日(日) 5名  
第64回 12月 5日(土) 5名  
第65回 12月 6日(日) 4名  
第66回 12月12日(土) 2名  
第67回 12月13日(日) 4名  
第68回 12月19日(土) 2名  
第69回 12月20日(日) 4名  
第70回 12月26日(土) 4名  
第71回 1月 4日(月) 5名  
第72回 1月 9日(土) 4名  
第73回 1月10日(日) 4名  
第74回 1月16日(土) 6名  
第75回 1月17日(日) 4名  
第76回 1月23日(土) 3名  
第77回 1月24日(日) 4名  
第78回 1月30日(土) 4名  
第79回 1月31日(日) 4名  
第80回 2月 6日(土) 7名  
第81回 2月 7日(日) 4名  
第82回 2月13日(土) 4名  
第83回 2月14日(日) 4名  
第84回 2月20日(土) 5名  
第85回 2月21日(日) 4名  
第86回 2月27日(土) 5名

今年度は新しいトイレが設置され、以前とは違う素材や設備になりました。すべてが新しいので、汚れを取るだけでなく、新しい状態を維持するための掃除は、ひとつひとつやり方や仕上げ方が違い、今まで以上に時間がかかりました。

27年度は11ヶ月間で開催回数86回、述べ参加総数は416名でした。

3年目になった高齢者や知的障害者がベテランのひとりとして率先して参加してくれ、引きこもりだった人やアル中の人など、25年度26年度に引き続き、様々な人たちが参加してくれました。

駅という沢山の人が通る場所の掃除実習は、就労訓練の場としてはもちろん、地域の方々からいただくありがたいの声は社会の一員としての地域デビューにつながり、やりがいに繋がる事にもなりました。

しかしこの活動に参加したすべての人が就労出来たわけではありません。ちょっとしたことでまた引きこもってしまったたり、病気が再発したりの繰り返しでした。長い時間をかけて引きこもっていたり、就労経験のないということは、本当に一人ひとりに寄り添って時間をかけていくことが大切だと感じます。

なおこの成果を元に、2016年2月NPO法人として申請しました。

**事業スケジュールについて、当初の計画と実際に実施した内容（実績）を詳細に記入してください。**

当初の計画	実 績
金曜日と日曜日に開催	土曜日と日曜日に開催

**また、当初の計画と実績をみて、事業スケジュールの組み立ては妥当であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。**

団 体
<input checked="" type="checkbox"/> 適正であった <input type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) 3年目なのでみんな慣れてきた。またよく作業内容も出来るようになった。

## 【 ④継続性 】

住民協働事業により「人・もの・情報・スキル」等、団体の活動基盤が強化した点や活性化した点について記入してください。

(例：〇〇を購入したことにより〇〇のスキルが上がり、効率的に活動できた。〇〇活動により団体の認知度が高まり、参加者が増えるとともに会員も増えた。)

1・この活動を協働事業として活動できたことで広く市民に知らせることが出来た。 協力者や紹介者が増えた。
2・就労困難者の終了準備や社会参加の場になった。
3・就労困難者が地域の課題を自分の課題として受け止めることが出来た

また、その結果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<input checked="" type="checkbox"/> 強化、活性化した <input type="checkbox"/> 概ね強化、活性化した <input type="checkbox"/> あまり強化、活性化しなかった (理由) 3年間の継続は、活動の定着になり、NPO 法人申請へとつなぐことが出来た。

### 【 ⑤必要性 】

団体と市が協働することで、行政サービスの充実・効率化等につながったか、協働による効果について記入してください。また、協働事業として実施し、良かった点や問題点等について記入してください。

団 体
<p>参加者への交通費や指導料としての賃金費用の提供は活動継続に大きな力となった。公衆トイレの新設や誘導者の設置は長年市民が取り組んできた成果だと考えることが出来る。</p>
市
<p>社会福祉課：          就労経験及び意欲が乏しい者などについて、民間事業者等の協力を用いた「就労準備の場」の利用は、平成 27 年度から全国で実施されている生活困窮者自立支援事業にも組み込まれており、そのニーズは今後も高まると予想される。このような場は行政では構築しがたく、民間事業者・団体等との協働が最も効果的であると思われる。</p> <p>財政課：          ◎良かった点          ・当該協働事業を通じ、参加者の就労・社会復帰に繋がった点          ・市の財政負担の軽減及び駅前公衆トイレの美化に繋がった点          ◎今後の課題          ・「活動の場の提供を受ける」というものから、団体本来の目的である「就労支援」を主としたものに移行していく、という、協働の在り方についての見直しを行う必要があると考える。</p>

また、その協働による効果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
-----	--------

<p><input checked="" type="checkbox"/> 効果があった</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね効果があった</p> <p><input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。</p> <p>(理由)</p> <p>気がついてはどうしていいかわからなかったことを市民発で出来たことはまちづくりを勧めて行く上で大事なことだと思う</p>	<p>(社会福祉課)</p> <p><input type="checkbox"/> 効果があった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった</p> <p><input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。</p> <p>(財政課)</p> <p><input type="checkbox"/> 効果があった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった</p> <p><input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。</p>
---	---